



計算科学





Abaqusを使ってこの試験を再現しよう!!!





		- インスタンスの作成
±≋2	レール: 🖢 アセンブリ 🕞 モデル: 🗍 Model-1	▼ ス インフタンフの作成・
R		● パート ◎ モデル
	<u>در</u>	
¢iř	₽ ₽	base
and a		
<u> </u>		
-+-		インスタンスタイプ
1		● ディペンデント (パート)
(XYZ)	+	◎ インディペンデント (イ
+ +	∱. I	注: ディペンデントのイン:
++ ₽	*••	そのパートメッシュを
		□ 他インスタンスからの自動
	Y	οκ
	x	
	91709737373771698771712	
		手順4 インスタン
		スの作成。アイベン
		テント選択

	⇔ ステップの作成					
Mode-1 マステップ:	名前: Step-1					
	このステップの後に新しいス	テップを追加				
	Initial		手順5			
			ステップの作成	え プロミ	ンー	
			ジャタイプ	-	一般	
			Heat transfer ?	を選択		
	プロシージャタイプ: 一般					
	Dynamic, Temp-disp, Expl	licit				
	Geostatic					
	Heat transfer					
	Soils	→ ステップの編集	🔷 ステップの編集		-	
	Static, General	名前: Step-1	名前: Step-1			
	Static, Riks	タイプ: Heat transfer	タイプ: Heat transfer			
		基本 インクリメント その付	1 基本 インクリメント	その他		
	- 続ける	説明:	タイプ: 🧿 自動 🔘 固	定		
		応答: ◎ 定常 ⑧ 非定常	最大インクリメント数:	100		
		時間幅: 100	初期	最小	最大	
		Nideom: オフ	時間増分値:	0.001	100	
時間幅	i 100		□ 温度の変化が右の値	よりも小さくな:	ったときにステッ	プを終了する:
最大許	容温度 1000		インクリメントあたりの	D最大許容温度変	化量: 100 0	>
			インクリメントあたりの	の最大許容ふく射	率変化量: 0.1	

手順6 境界条 件の作成 Step-1 → その他 → 温度 "続ける"をクリックして,下図の数字を打ち込む





	手順8 上のバー 成を選択	-の"出力"から"履歴 <mark>出力要求"→作</mark>	
		Abaqus/CAE Student Edition 0.13-2 [viewport: 1]	
		■ ファイル モデル ビューポート ビュー ステップ 出力 その他 ツール プラ	ダイン ヘルプ
		I D 🗃 🖩 🖶 🛔 I 🎟 🎒 🕼 I 🕂 🕈 🔍 🔍 🖸 11 目 具 Ц I	🔟 🖓 वर्ष
-			▼ ステップ
+== []		名前: H-Output-1	
1		プロシージャ: Heat transfer	
11010		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
-+12 0		頻度: n インクリメントごと ▼ n: 1	
B L		タイミング:正確な時間における出力 -	
(XY2) +		 出力変数 ● 下記のリストから選択 ◎ プリ選択されているデフォルト ◎ す **熱的"を選択 	
÷	**	FTEMP,HFLA,HTL,HTLA,RADFL,RADFLA,RADTL,RADTLA,VFTOT \rightarrow OK をクリック	
		▶ ☑ 接触 ▶ ☑ 热的	
	× ×	 □ リバーの出力 シェル,はり,積層断面点の出力位置: ◎ デフォルトを使用する ◎ 指定: 	

1.10



要素タイプ フ
アミリ 伝熱
ジオメトリ次数 2次
4辺形

メッシュコントロールの割り当ては 前回と同じ

→メッシュ分割

W全体サイズ: 0.005手順9曲率コントロールオブジェクト最大偏心倍率(0.0 < h/L < 1</td>パートのシード(円弧上の要素数(約):8)近似全体サイズ0.005ハサイズコントロール以下左図のように数値設定し、okをクリック。

 Standard C Explicit ジオメトリ次数 線形 2次 4辺形 3角形 要素コントロール これにの設定で適用でき 	一般化平面ひずみ 伝熱 圧電特性 平面フトずみ
ジオメトリ次数 線形 2次 4辺形 3角形 要素コントロール スれらの設定で適用でき 	伝熱 圧電特性 亚面パトずみ
ジオメトリ次数)線形 ② 2次 4 辺形 3 角形 3 東素コントロール 3 内部支充済田でき 	圧電特性 亚面アトថ゚み
4 辺形 3 角形 要素コントロール	1,22/1817 N.G. 74
211 300 802 (12/1) (2	



絶対ゼロ度: 0 → ok をクリック

手順10 モデルツリー内のモデル名を 右クリックして属性の編集を選択 X 名前: Model-1 モデルタイプ: Standard & Explicit 説明: □ 入力ファイルでパートとアセンブリを使用しない 物理定数 đ ・
絶対ゼロ度: Stefan-Boltzmann 定数: 一般気体定数: 音響波の定式化を指定する: リスタート サブモデル 注: このモデルの前の解析からのデータを再使用するためには、これらの設定を 指定しなければなりません。 ジョブからのデータの読み込み: リスタート位置: ?? ステップ名:



手順11 ジョ ブの作成

> 手順12 ジョ ブの投入

手順13 ジョブの名前の隣に(完了)と表示 された後, 左図のような状態まで 開き, 結果をクリック

